



中国医科大学

(中華人民共和国)

(China Medical University)

交流協定締結年月日：1997年8月28日 主管学部：医学部



<http://www.cmu.edu.cn/>より抜粋

国際交流の特色(大学紹介)

中国医科大学は中国東北地方の中心都市である瀋陽に位置し、非常に古い歴史をもつ大学であり、また日本とも深い関係をもっているところでもある。現代医学教育・研究に中心的な役割を果たしている大学で、毎年数多くの人材を養成し、中国の衛生管理ならびに医学・医療のリーダーを輩出している。中国医科大学は教授633名、准教授905名の13,710名のスタッフ、16,029名の学生を有し、また大学院には博士課程56、修士課程67の専門コースが設けられている。国際交流では、アメリカ、カナダ、フランスをはじめ世界の多くの国々と交流協定を締結しており、香港、マカオ、台湾等の外国から439名の留学生を受け入れている。本邦では慶応義塾大学、大阪大学、九州大学等の医学部と姉妹校になっている。

交流実績(平成25年度～27年度)

受入・派遣	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
外国人留学生受入		0	0	0
短期留学生受入		0	0	1
外国人研究者受入		0	0	0
短期学生派遣		0	0	3



教員からの声

中国医科大学は基礎医学院、公衆衛生学院をはじめ計28の研究学院からなる総合的医学教育機関である。学術交流協定は1997年に締結されている。協定締結後も毎年多くの学生が、基礎・臨床医学講座に留学してきたが、最近国費留学生の採択数が激減したため留学生が減少した。

中国医科大学は、設立時より日本との関係が深いため、日本語を話せる職員が数多くみうけられるのが特徴である。また、日本語コースでは医学部の授業が日本語で行われているため、研究者のみならず学生も日本語を流暢に話せる人も少なくない。平成23年3月には学生派遣がなされたが、日本と中国との国交の不調もあり、それ以降、本学からの派遣は行われていない。しかし、中国医科大学は国際交流が盛んであり、日本に対しての興味も深いので、今後双方の研究者・学生交流が推進されることを期待している。
(医学部教授) 三宅 実

教員からの声

私は2000年から2006年まで、国費留学生そしてポスドクとして香川大学医学部第一生理に留学しました。nNOSリン酸化及び希少糖などの研究を集中して、私の研究にとって一番大切な6年間でした。その間とても忙しいですが、今振り返ってみると研究の知識や技術などを習得できて価値があった。

帰国後、もとの中国医科大学第一附属病院麻酔科に助教になりました。2011年新しい疼痛科を創って2013年教授になりました。今教室には医者9人、看護婦8人、大学院生9人がいます。研究に関しては、香川大学の研究を続けています。

香川での生活は非常に懐かしいです。何とか香川大学と共同研究を続け、学生及び職員の交換も望みます。現時点、両方とも努力してまず短時間の交流は支障なくできると思いますので頑張りましょう。
(中国医科大学教授) 宋 濤

中国医科大学

(China Medical University)

ホームページ

<http://www.cmu.edu.cn/>

●学部学生 8,105 人

●大学院生 5,310 人

●教職員 13,920 人

●留学生 730 人